

## <しながわ花海道に花と笑顔を！>

# 芝桜補充植栽実施報告

実施日時：令和4年4月13日(水) 午前7時から

実施場所：しながわ花海道 護岸域

主催者：NPO法人 しながわ花海道

協力者：かつをの庭、近隣地域ボランティア

NPO法人 しながわ花海道では、以前から花壇事業の一環として護岸最下段へ紅白の芝桜を植栽していました。芝桜は宿根多年草なのですが、冬になると地上部は枯れます。このため、菜の花などを植栽するために整地する際、宿根ごと整地されることがあり、春になっても、綺麗に繋がらず斑模様になっていました。まだら模様を解消し、綺麗な紅白の帯になるよう、今回、1000余苗を補充植栽することにしました。

補充植栽にあたって、前準備として斑部分の雑草を除去する必要があり、4月初旬から雑草除去作業を進めました。雑草は芝桜が密集している場所には発生せず、斑模様の場所に発生しますが、芝桜の根を傷めずに抜き取らねばならず、手間がかかり2名で1日10区画程度しか進捗できません。



事務局による雑草除去作業

大田花卉市場から購入した植栽する1000余株の赤白二色の芝桜苗ポッドは、新たに第一地域センタから譲り受けた大型テント下に保管準備しました。



事務局による雑草除去作業



芝桜苗ポッド保管状況

## 4月13日(水) 芝桜の補充植栽作業

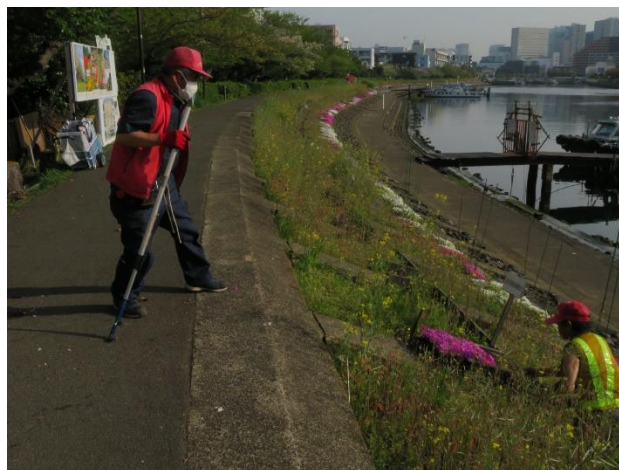
夏日予想の好天に恵まれ、関係者は早朝7時先行作業関係者がテント前に集合し、恒例の作業前ラジオ体操から始めました。



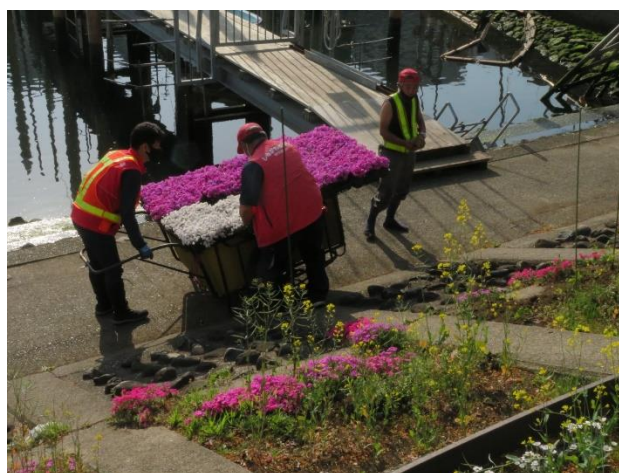
ラジオ体操

その後、ボランティアなど4名が応援参加し、都合総勢8名で作業を行いました。作業は、事前苗配置2名、苗植え込み5名、散水1名で分担しました。

事前苗配置するための護岸下への苗ポッド運搬は、搬送リヤカーを護岸下に待機させ、護岸の斜面を利用して苗ポッドに入ったケースを滑らせ効率よく行いました。

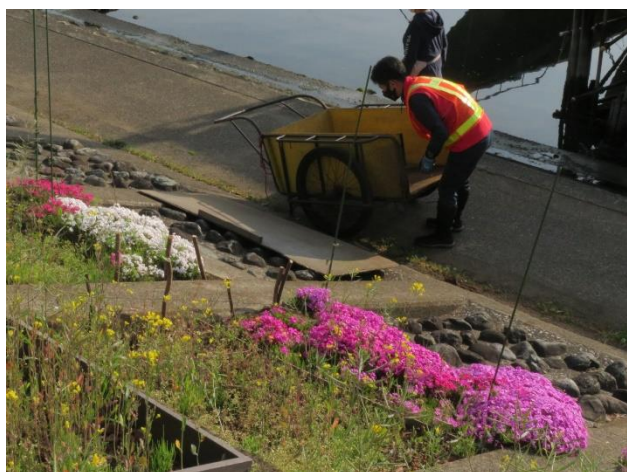


斜面を滑らせる

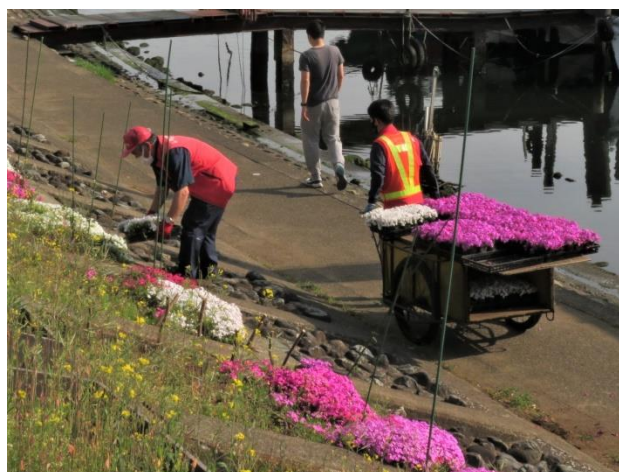


リヤカーに載荷

リヤカーに載せ終わったら、目視確認しながら雑草を抜き取った斑の空地に補充植栽用の苗ポッドを適宜配置します。原則として現在の芝桜が咲いている色に合わせて配置しました。

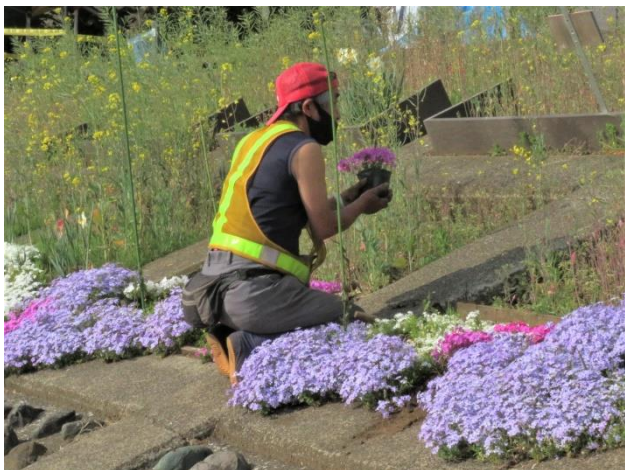


リヤカー準備



苗ポッドの斑部分への配置

配置作業が終わった場所で、植栽作業担当者はポッドから苗を取り出し、植栽しました。植栽後、未だ斑が目立つ場所は更に補充植栽を追加して実施しました。場所によっては紫色芝桜部分、紅白混合芝桜部分がありますが、バランスを考え植栽しました。



紫色部分に赤色を植栽



白色赤色混合部に赤色を植栽

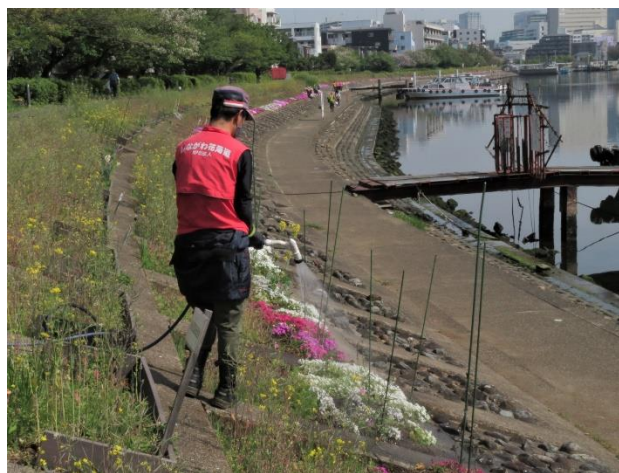


赤色部分に赤色を植栽



ボランティアも参加した作業風景

間もなく雨天になるとの天気予報ですが、余り当てにはなりませんので、植栽作業が完了した場所は、苗を定着させるため、散水作業を行いました。



散水作業

作業中には今年始めて脱皮したジャコウアゲハが飛翔し、コサギが作業を監視していました。今年はまだ難しいと思いますが、来年は宿根が十分広がり雑草が生える余地もなくなり、延々と続く綺麗な芝桜の紅白ベルトが鑑賞できると思います。

真夏日という環境下で、作業を実施した事務局関係者、自主的にお手伝いいただいた皆様お疲れさまでした。

(おわり)